



文部省唱歌誕生秘話

～歌詞編纂の最終責任者「芳賀矢一」博士の校閲～

【芳賀 矢一（はが・やいち）】

1867(慶應3)年～1927(昭和2)年、福井市出身、東京帝国大学教授、国学院大学学長、国文学者。



「のあそび」→「はるがきた」

展示室Bにて
特集展示中



芳賀博士は、文献を丁寧に

考証し、民族や文化を研究する手法で、近代的国文学の基礎を築きました。国定教科書調査員、編纂委員長として国語教育の整備にも貢献しました。（第13号に関連記事）

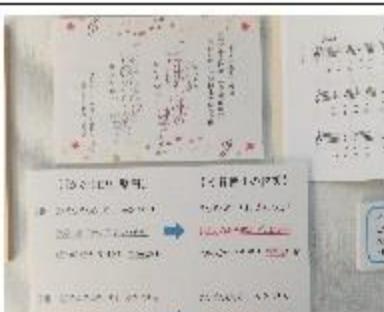
♪文部省唱歌は、明治から昭和にかけて文部省が編纂した、尋常小学校、高等小学校、国民学校などの小学校の唱歌や芸能音楽の教科書に掲載された楽曲の総称です。芳賀博士は、歌詞の校閲に深く関

助詞一字に至るまでの
細かい修正例

♪春が来た

「わり、自ら「三才女」「雪」「鎌倉」等を作詞するなど、「んでん」の言葉の調子に合わせて「むし」を二回繰り返すました。

味です。子どもたちは、「でもには初めての映像？」言葉遊びに親しみ、喜んで口ずさみました。



「かたつむり」

♪かたつむり
《事例二》 親しみ
やすく、わかりやすい
言葉遣いを求めた例

改称され、芳賀博士が作曲しやすいうように言葉の文字数に合わせ、助詞の「も」を加えて「野にも来た」と校閲しました。また、順番も「山→野↓さと」から「山↓里↓野

に入れ替え、春の到来が広がっていく様子と、春の訪れを待ちわびる心情の高まりが強調されました。

【一番】（原詞）①でんでん
むしむしかたつむり②なにが
こわくてかくれるぞ③つのだ
せやりだせちからだせ→（校
閲後）②おまえのあたまはどう
こにある③つのだせやりだせ

●上期日 12月24日～28日
○時間 11：00～13：30
●上映番組（各10～20分番組）
24日（日）走れメロス
26日（火）マッヂ売りの少女
27日（水）ぶんぶく茶がま
28日（木）笠じぞう

【二番】（原詞）①でんでん
むしむしかたつむり②いくち
がないといはれるぞ③つのだ
せやりだせちからだせ→（校
閲後）②おまえのめだまはど
こにある③つのだせやりだせ
あたまだせ

●上期日 12月24日～28日
○時間 11：00～13：30
●上映番組（各10～20分番組）
24日（日）走れメロス
26日（火）マッヂ売りの少女
27日（水）ぶんぶく茶がま
28日（木）笠じぞう
●年末年始の休館日・12月25日
12／29～1／3 1／9



16ミリ映画上映会

大人には懐かしく、子どもには初めての映像？